

Q1 柿木図書館の建物は、地域のシンボルとなっている。改築ではなく改修して、現状の建物を維持することはできないのか。

A1 柿木図書館は、建物の長寿命化を目的とした改修をこれまでに一度も実施せずに築60年を迎えており、老朽化が進んでいる状況です。このため、改修を実施したとしても、長期間にわたって建物を維持していくことは困難です。また、現在の建物は、構造上、大幅な間取り変更が困難であるほか、全てのフロアにエレベーターを設置できないなど、バリアフリー対応に課題があり、的確に区民ニーズへ対応していくためにも、現時点では改築を前提に更新方法を検討しています。

Q2 ゆうゆう館からコミュニティふらっとへの機能継承について、これまでの実績等はどうなっているのか。

A2 ゆうゆう館の機能を継承したコミュニティふらっととは、これまでに7施設あり、約9割の高齢者団体がコミュニティふらっとに移行し、活動を継続しています。移行しなかった団体の理由としては、「距離が遠くなった」や「利用できる部屋が小さくなった」などの声がありました。



老朽化が進んでいる柿木図書館やその周辺施設をどのように更新していくかについて、区民の皆さんと共に考えるため、ワークショップを開催しています。

今回は、1月24日に開催した第3回のワークショップの様子をお伝えします。

ワークショップで配布した資料等は、区ホームページ(右2次元コード)に掲載しています。



■ 対象施設

四宮区民集会所 四宮保育園・ゆうゆう四宮館

柿木図書館

■ ワークショップの日程(予定)等

- 第1回 (8/31) 対象施設を知ろう
- 第2回 (11/1) 課題解決に向けた取組を考えよう
- 第3回 (1/24) **更新方法(たたき台)について検討しよう**
- 第4回 (3/28) 検討を深め、複数の更新方法(たたき台)を比較してみよう

対象施設の課題等を整理し、複数の更新方法(たたき台)を作成!

区立施設の見学会を開催しました(令和7年12月21日)

① 高円寺図書館(図書館とコミュニティふらっとの複合施設)

令和7年に移転改築した図書館を見学した上で、運営事業者から、多世代交流事業等に関する説明を受けました。



② コミュニティふらっとと本天沼

ゆうゆう館の機能を継承して開設したコミュニティふらっとを見学した上で、運営事業者から、高齢者団体や多世代交流事業の様子などに関する説明を受けました。



〈運営事業者の主なコメント〉
高齢者向けのイベントは、ゆうゆう館のときと同様の回数実施しています。また、多世代向けのイベントが増えた結果、これまで高齢者中心だったイベントに若い世代も参加するなど、多くのイベントが盛り上がっています。

次号は、第4回ワークショップ(令和8年3月28日開催)後に発行する予定です。

■発行 杉並区政策経営部企画課
施設マネジメント担当
☎03-5307-0348

第3回の主な内容

STEP 1 区からの情報提供

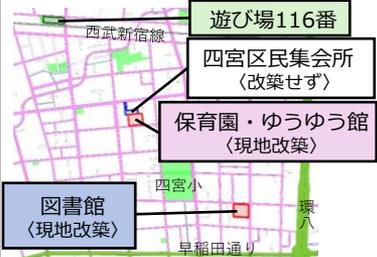
- 第2回での主な質問に対する回答
- “取組への期待”を達成できているかを確認するための視点等
- 更新方法(たたき台)



STEP 2 グループワーク

- 更新方法(たたき台)の良い点、気になる点

中面で詳しくご紹介いたします

	たたき台1	たたき台2	たたき台3
主なポイント	築年数が比較的浅い区民集会所（築40年）を改築しない案	全ての対象施設（保育園・ゆうゆう館・区民集会所・図書館）を改築する案	図書館と集会施設を合築する案
更新後の配置図			
施設の配置	変わらない	変わらない (保育園・ゆうゆう館と区民集会所を一体的に整備)	図書館と保育園の配置が入れ替わる
図書館の休館期間	3年程度	3年程度	6年程度
保育園の仮設園舎	遊び場116番(井草5-2)に建設することを検討中	遊び場116番(井草5-2)に建設することを検討中	不要
保育園の園庭面積	保育園の延床面積が現在の基準に合わせて大きくなるため、園庭面積は現在より小さくなる。	保育園の延床面積が現在の基準に合わせて大きくなるため、園庭面積は現在より小さくなる。	保育園の延床面積が現在の基準に合わせて大きくなるものの、園庭面積を現状程度確保できる。
区民集会所の改築	路地状敷地であり、今後、現在地で単独の集会施設としては改築できないため、他の場所への移転等が必要になる。	単独では改築できない区民集会所を改築できる。	単独では改築できない区民集会所を改築できる。
区民集会所の休館	なし	あり	あり

たたき台1・2共通

- 施設の配置が現在と変わらないため、利用者への影響が少なく、地域のシンボル性も保つことができる点が良いと思う。
- 保育園とゆうゆう館の配置が変わらないため、ゆうゆう館で実施している、高齢者と保育園児の交流イベントを維持できる点が良い。
- ▲遊び場116番に保育園の仮設園舎を整備する場合、線路の南側に住む人は通園の際に踏切を渡る必要が生じ、保護者から嫌がられるのではないかと。鉄道の騒音も懸念されると思う。

その他

- ・最終的に地域にとって良い施設ができるのであれば、図書館の休館期間が長くなることも我慢できるのではないかと。長い目で見て、この地域のためになる案が良いと思う。
- ・改築後の図書館は、親子の触れ合いが増えるような施設にしてほしい。
- ・集会施設には、大人数で集まって飲食等ができる部屋や、歌や楽器の練習ができる防音の部屋、施設前に親子が楽しめるスペースがあると良い。

※たたき台2・3の集会施設については、①ゆうゆう館と区民集会所又は②コミュニティふらっとを整備する案が考えられる。

たたき台1

- ゆうゆう館は職員との交流ができた、新しい友達ができるなど良い施設なので、ゆうゆう館が確実に残る点は良いと思う。
- ▲区民集会所を改築しない場合、使いにくい土地として、将来に課題を先送りすることになってしまう。近隣の施設と同時に更新できるチャンスなので、改築しないのはもったいないと思う。

たたき台2

- たたき台1における区民集会所の改築の課題を解決でき、たたき台3の課題である、施設の移転による地域への影響を抑えられる。バランスが良く、区民の納得も得られる案だと思う。

たたき台3

- 図書館と集会施設の合築は、相乗効果が期待でき、魅力的な施設になると思う。わくわくして、行ってみたいと思える。
- 保育園の仮設園舎が不要で、コストがかからない点が良い。
- 保育園の園庭面積を現状程度確保できる点が良い。
- ▲図書館の6年程度の休館期間は長すぎると思う。近くに貸出窓口だけでも設置するなどの対応が必要になると思う。
- ▲施設の配置が変わるため、地域の理解を得るために丁寧な説明が必要である。地域住民は、図書館や保育園が今の場所にあることに愛着を持っており、また、高齢者は慣れ親しんだ場所が変わると慣れるまでに時間がかかる。

